

# 貧困の連鎖

2013.5.6 瀧川ゼミ

阿部 佐々木 山本

## 貧困の連鎖とは

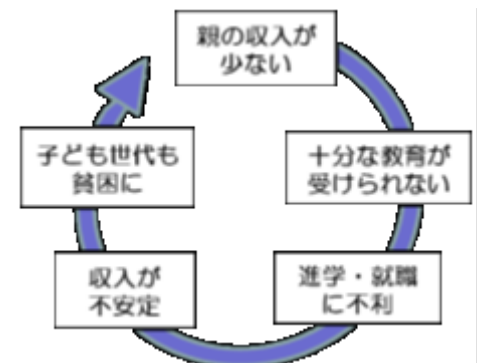
子ども期に貧困であることの不利は、子ども期だけで収まらない。この「不利」は、その子が成長し大人になってからも持続し、一生、その子につきまとう可能性がきわめて高いのである。（「子どもの貧困」 阿部彩 岩波新書 2008）

親の所得や階層、職業などが、子どもの教育水準などに影響を与え、やがては子供の階層、職業を決定してしまうという現象が増えてきている・・・（「格差社会」 橘木俊昭 岩波新書 2006）

アメリカのある研究においては、25歳から35歳の成人の勤労所得、（成人となつてからの）貧困経験が、どれほど子ども期（5歳から18歳）の世帯所得に影響されているかを分析しており、特に男性の勤労所得や賃金（時給換算）、貧困経験が、子ども期の貧困に直接影響していると報告している（Corcoran & Adams 1997）

また、別の研究においては、1957年に高校を卒業した1万人以上の人々を34年後の1991年にフォローアップして調査している。これによると、高校卒業時点での親の所得は、最終学歴や大学進学率に影響しているだけでなく、52歳時点での就労状況、勤労所得にも影響していると報告されている（Hauser & Sweeney 1997）

以上のように貧困世帯の階級の固定化・貧困の世代継承が貧困の連鎖と呼ばれている



## 貧困の連鎖における「貧困の定義」

### 相対的貧困と絶対的貧困

・絶対的貧困(Absolute poverty)とは、食料・衣服・衛生・住居について最低限の要求基準により定義される貧困レベル

・相対的貧困(Relative poverty)の OECD による定義は、等価可処分所得が全国民の等価可処分所得の中央値の半分に満たない国民の割合の事

等価化処分所得：収入から強制的に取られる分税金や社会保険料を差し引いた自由に使える所得

日本政府は明確な「貧困」の定義を持っていない

OECD が示す貧困率に則って算出すると、2007 年の国民生活基礎調査では、等価可処分所得の中央値（2006 年：254 万円）の半分（127 万円）未満が、相対的貧困率の対象となる。

これは、単身者では手取り所得が 127 万円、2 人世帯では 180 万円、3 人世帯では 224 万円、4 人世帯では 254 万円に相当する。

## 貧困の連鎖の現状

### ）出身階級による大学進学率の格差

大学進学率は出身階級によって大きく違う。父親が資本家階級や新中間階級なら、四割以上が大学に進学できるのに労働階級や旧中間階級の場合は二割以下しか大学に進学できない。しかもその格差は広がっている。

### ）父親の所属階級と本人の所属階級の関係

全体として、人々が父親と同じ階級に所属しやすい傾向ははっきりしている。特に資本家階級は、ほかの階級出身者には近寄りがない、閉ざされた階級だといっている。

### ）父親の所属階級と夫の所属階級の関係

結婚相手も、出身階級によって決定される部分が多い。結婚には偶然の出会いや相性によって決まる部分も多いから、出身階級ですべてが決まってしまうというわけではない。しかし、統計的な観点からいわゆる「玉の輿結婚」の可能性は、

かなり小さいと考えられる。

## 行政の取り組み

「生活支援戦略」中間まとめ（2012年7月5日） 別添資料

### 2. 基本目標

「生活困窮者が経済的困窮と社会的孤立から脱却するとともに、親から子への「貧困の連鎖」を防止することを促進する」

### 3. 「3つの視点」に位置づけ

本人の主体性と多様性を重視する。

「早期対応」による「早期脱却」と「貧困の連鎖」の防止を図る ←

国民の信頼に応えた生活保護制度を構築する。

「貧困の連鎖」の防止 別添資料

（平成24年度厚生労働省所管概算要求関係 > 「日本再生重点化措置」の要望について）

公立高校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度

高校授業料無償化・就学支援金支給制度は公立高等学校などの授業料を無償化し、また私立高等学校などに就学支援金を支給して授業料を低減することを目的とした制度であり、日本で2010年度から実施されている。

詳細は資料レジュメ

図を見る限り 行政は基本的に「高校進学を支援する姿勢」

### 4. 他セクターの高校進学に関する支援の現状

#### A) 浜松市

浜松市、「貧困の連鎖」断絶へ 生活保護世帯の進学支援

（静岡新聞 2013年4月13日）

浜松市は本年度、生活保護受給世帯の中学生を対象に進学支援事業に乗り出す。全市の生活保護世帯の約半数が居住する中区をモデル区に、中学3年生や不登校の

生徒、障害のある生徒の高校進学をサポートする。教員免許を持つ「就学支援員」を配置して各家庭を支援する計画で、生活保護世帯で指摘されている「貧困の連鎖」の断絶を目指す。

中区ではおよそ45世帯の生徒が対象となる見通し。就学支援員はケースワーカーと被保護世帯を家庭訪問し、進学意欲の喚起や進路相談に取り組む。子どもの高校進学を当初から選択肢としない家庭もあるため、保護者に進学の重要性を説明する。夏休みの勉強会も開催する予定で、事業は民間委託する。

市福祉総務課は「高校進学を諦める生徒を1人でも2人でもなくし、将来の自立につなげたい」としている。同課によると、2011年度の市全体の高校進学率は98.1%に対し、生活保護受給世帯は81.9%だった。

## B) 堺市

### 高校中退...「貧困の連鎖絶ちたい」調査に踏み切る 堺市と関西大

(MSN産経ニュース 2012年9月6日より抜粋)

「貧困の連鎖の原因のひとつに、高校中退の問題があるのではないか」。生活保護のケースワーカーの間では、以前からこのような指摘がされていたという。

同市では、生活保護世帯の高校進学率の向上を目指し、平成20(2008)年度から支援プログラムを実施。87.3%だった進学率を93.7%(平成23年度)まで向上させた。

だが、高校に進学しても中途退学する生徒は後を絶たない。堺市関係者のひとり「あまりにあっさりとは中退してしまうケースがある。中退すればその分、就職もしにくくなるにも関わらず、誰にも相談せず自分で判断してしまう傾向がある」と指摘する。

義務教育の期間は小中学校の担任教諭によるケアや、生活保護世帯向けの学習支援といった取り組みが広がりつつあるが、高校中退者の支援については「教育、労働、福祉などそれぞれの分野で模索している状態」(厚労省生活困窮者自立支援室)という。

調査を担当する関西大学の岡田忠克教授は「高校生の年頃は、仕事や人生を考える最も重要な時期。この時期に自分で生きる力を身につけるかどうかで人生を左右する」と指摘する。

## C) NPO法人

### 貧困家庭の高校進学支援 大学教員ら団体設立

(東京新聞 2010年8月1日より抜粋)

貧困家庭の中で勉強の意欲を失い、高校進学をあきらめてしまう中学生らをサポー

トしようと、県内の大学教員らが支援団体「彩の国 子ども・若者支援ネットワーク」を七月上旬に設立した。中学三年対象の学習教室を十月に県内十カ所で開講し、親に対しては子育てや生活の相談を行う。団体の代表理事に就いた青砥恭（あおと やすし）さん（埼玉大学講師）は「高校入学から卒業後の就職までサポートし、親から子への『貧困の連鎖』を断ち切りたい」と話している。

一方、

#### 5．大学に関する支援の現状

##### A) 東京大学 別添資料

「授業料免除は、（中略）平成 20 年度からは、これまでの制度に加えて、学部学生（留学生を除く）で総所得金額が 218 万円以下（給与収入 400 万円以下）の場合、全額免除となる制度が始まります。」

##### B) 各種奨学金

例：立教大学 別添資料

**これらの支援は入学後になされるものである。大学進学そのものに向けられた支援は見つからないのが現状。**

#### 6．中卒者と高卒・大卒者の生涯賃金の違い 別添資料（標準労働者の欄）

図 21-1

（男性）

中卒：2 億 1000 万

高卒：2 億 4000 万（+14%）

大卒：2 億 8000 万（+16% , +33%）

（女性）

中卒：1 億 4000 万

高卒：1 億 8000 万（+28%）

大卒：2 億 4000 万（+33% , +71%）

学歴が高まるにつれて就業年数は短くなるが、その一方で賃金水準も高いため、結果として高学歴ほど生涯賃金が高くなっている。

また、中卒と高卒の間に大きな開きがある。特に、女性の大卒は中卒の約 7 割増であり、大きな差が開いていることがわかる。

## 貧困の連鎖に内在する問題点

) 貧困の連鎖が起こる社会は不平等な社会

平等を論じる時には、「結果の平等」と「機会の平等」に区別される。教育格差が貧困の連鎖の主な原因であるが、このような社会では、「機会の平等」の欠如によって教育格差が起こる。

) 道徳的恣意性

どの親の元で生まれてきたか、という恣意性によってその人の将来の所得が決まってしまう世の中は公正な社会ではない、社会制度によって世界の恣意性を修正しなければならない

) ロールズの格差原理

「機会の平等」が欠如している社会では、格差が広がってしまう。そこで、ロールズの格差原理を紹介したい。

「格差原理とは社会で最も不遇な人々の利益に資するような社会的・経済的不平等だけを許容するという考え方だ。」(「これからの「正義」の話しよう」 マイケル・サンデル 早川書房 2010)

ここで、大学入試における機会の平等を是正する手段としてアファーマティブ・アクションを提示したい

## 論点レジュメ

### アファーマティブ・アクションとは

弱者集団の不利な現状を、歴史的経緯や社会環境を鑑みた上で是正するための改善措置のこと。アメリカにおける大学入試制度のものが有名。

日本においても、男女共同参画社会基本法の規定による男女共同参画基本計画により、雇用において女性優遇採用（千葉県、大阪府、名古屋大学、東横イン、TOTO など）がなされている。

### アメリカの大学におけるアファーマティブ・アクション

アメリカの大学では、黒人・ラテン系のマイノリティの平均の学力が低いために進学率が低いことを是正するために、大学において一定枠の確保（理想としては黒人の全人口に対する割合と同一の合格確保）が行われている。

アメリカの大学入試競争においては、ゴールラインが人種枠ごとに別々に引かれており、アイビーリーグでの SAT (大学進学適性試験) の修正点は、1600 満点中白人をゼロとすると黒人が +230 点、ラテン系が +185 点、アジア系は -50 点（アジア系の学生は学力が高いため、点数が引かれている）と言われている。また、人種とは別にレガシー（大学 OB・OG の子供）は +160 点。

テキサス大学のロースクールでは、1996 年までこの制度があり、年度によって異なるが、とある年では新生生の約 15% をマイノリティの学生から選ぶことを目標としていた。

## 日本の大学入試におけるアファーマティブ・アクション導入の検討

### ）教育格差是正措置としてのアファーマティブ・アクション

日本においては、前述のとおり教育格差によって、階級の固定化が起こっている。この現状を打破するためには、貧困世帯の学生に難関大学へ行くきっかけを作り、貧困世帯から高収入を得る者を積極的に出す必要がある。また、機会の不平等を是正することにより、より平等な社会を実現できる。

### ）アファーマティブ・アクションのメリット

- 教育における機会不平等の是正
- 大学の学生の多様性

### ）ドゥオーキンの擁護

ドゥオーキンによるアファーマティブ・アクションの擁護は、日本で導入する際も当てはまる。大学合格の判断は学業面のみを指針とするべきという主張に対し、ドゥオーキンは、大学合格の判断は、大学がすべきと述べている。

## アファーマティブ・アクションの問題点

### ）シェリル・ホップウッドの訴訟

白人のホップウッドは、テキサス大学ロースクールに出願。GPA は 3.8、入学試験の得点率は 83% と悪くなかったが、結果は不合格だった。アファーマティブ・アクションにより、合格したアフリカ系アメリカ人やメキシコ系アメリカ人の学生の中には彼女より GPA や入学試験の点数が低い者がいた。

### ）実力主義による道徳的恣意性の是正

日本でアファーマティブ・アクションを導入する必要があるのだろうか。イギリスでは、階級制度が残っているし、アメリカではレガシー優位の入試制度であり、中国、韓国、日本の東アジアにおける大学入試制度は特有であると言われている。（中国の科挙制度の恩恵）。学力のみによる試験制度の方が公正な制度ではないか。



## 論点

現在の日本社会における貧困の連鎖は教育格差が原因である。この格差を是正するために難関大学において年収 250 万円以下の世帯に、入学定員の 9.1%の枠を設けるといったアファーマティブ・アクションを導入すべきか？

## 議論の反映

議論では、賛成 1、反対その他多数でした。賛成側の主張としては、どの階級、世帯に生まれるかわからないという不平等な社会では、大学入学時に貧困世帯を優遇することで、是正する必要があるということ。

反対側の主張は、大学入学時に貧困世帯を優遇する必要はなく、NPO の取り組みによって、貧困世帯が抱える教育の格差を是正しようといった主張でした。

議論を終えて、争点がどういった方法で貧困世帯を援助すべきか、という内容に偏ってしまい、論点が生かせなかったように思います。また、この理由と共に、賛成者が 1 人しかいなかったという点でも、論点の設定に問題があったと考え、反省しています。

今回の議論で学んだことは、有効でわかりやすいと考えた上で提示したアファーマティブアクションという方法が、わかりやすいがために反感を買いやすいといったことでした。先生も指摘された通り、収入は操作可能な数字なので、制度として導入することに本質的な問題も浮き彫りになりました。また、この方法で貧困の連鎖を根本的に解決可能かといった疑問も残りました。

## 参考サイト

等価可処分所得

[http://m.webry.info/at/takamasa/200911/article\\_6.htm](http://m.webry.info/at/takamasa/200911/article_6.htm)

「生活支援戦略」中間まとめ（厚生労働省）

[www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002fjpt-att/2r9852000002fjtq.pdf](http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002fjpt-att/2r9852000002fjtq.pdf)

貧困の連鎖の防止（厚生労働省）

[www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/12syokan/dl/saisei\\_youbou\\_27.pdf](http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/12syokan/dl/saisei_youbou_27.pdf)

東京大学 [授業料の納付・免除]授業料の免除（東京大学）

[http://www.u-tokyo.ac.jp/stu02/h01\\_02\\_04j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/stu02/h01_02_04j.html)

ユースフル労働統計 - 労働統計加工指標集 - 2012 生涯賃金など生涯に関する指標（独立行政法人 労働政策研究・研修機構）

[http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/kako/documents/21\\_p241-279.pdf](http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/kako/documents/21_p241-279.pdf)

浜松市、「貧困の連鎖」断絶へ 生活保護世帯の進学支援 | 静岡新聞

<http://www.at-s.com/news/detail/618040953.html>

高校中退...「貧困の連鎖絶ちたい」調査に踏み切る 堺市と関西大 - MSN 産経 west

[http://sankei.jp.msn.com/west/west\\_life/news/120906/wlf12090605070001-n1.htm](http://sankei.jp.msn.com/west/west_life/news/120906/wlf12090605070001-n1.htm)

貧困家庭の高校進学支援 大学教員ら団体設立

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/saitama/20100801/CK2010080102000066.html>

( [http://blog.goo.ne.jp/naha\\_2006/e/9f4d5a9cd428dcb5e119f023d80a9319](http://blog.goo.ne.jp/naha_2006/e/9f4d5a9cd428dcb5e119f023d80a9319) )

OECD Growing Unequal 2008

<http://www.oecd-tokyo.org/pub/japan/poverty.xls>

## 参考文献

阿部彩（2008）『子どもの貧困』岩波新書

橋本俊昭（2006）『格差社会』岩波新書

宮本太郎（2009）『生活保護 排除しない社会へ』岩波新書

阿部彩（2011）『弱者の居場所がない社会 貧困・格差と社会的包摂』講談社現代新書

橋本健二（2009）『貧困連鎖 拡大する格差とアンダークラスの出現』大和書房

マイケル・サンデル著、鬼澤忍 訳（2010）『これから「正義」の話をしよう いまを生き延びるための哲学』早川書房